

## 授業科目

## 中枢神経系理学療法学 (成人)

担当教員名 正木 光裕、犬飼 康人、小島 翔	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	5 (うち4単位)	時間数	135 (うち91)

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

中枢神経系に障害をもたらす疾病は多くあり、その障害像も多様、複雑である。理学療法の評価における展開では、適切な評価とクリニカルリレーズニングの力が必要となり、その実施には脳の機能や構造の知識、運動機能に障害をもたらす関連についての理解が基本事項として必要となる。また、治療における展開では、実施内容の表現と効果につなげる技能、並びに、評価のフィードバックの反復が重要となる。本授業では、クリニカルリレーズニングの実行に及ぶ基本事項を学習し、多くの評価項目の理解を促す。さらに、学生による評価事象の表出を実施する。また、適宜理学療法の紹介を行い、学生期には得難い臨床における実践のイメージを認識できるように構成する。

## 授業の目的

中枢神経系疾患の病態や加療時期の違いによる理学療法を理解し、必要な検査項目を列挙、および選択できるための基礎知識を修得する。さらに、理学療法実践への展開につながる基礎的な技術を身につける。

## 学習目標

1. 脳の機能局在や障害により出現する症状を述べる
2. 脳血管疾患の病態と合併症を説明する
3. 脳血管疾患のリスクとその重要性について説明する
4. 全身管理の判断に必要な評価を理解し説明する
5. 中枢神経系障害者に対する各種検査の意義を理解し、検査測定を実施する
6. 中枢神経系障害者の動作分析の意義を理解し、分析する
7. 評価実施の導入や結果を模擬症患者（あるいは家族）に説明する
8. 中枢神経系障害の症状を評価し、治療計画の立案を模倣する
9. 中枢神経系障害者に対する運動療法を模倣する
10. 加療する時期や症状の違い、および障害重症度による理学療法展開の違いを述べる
11. 脊髄損傷やの障害像について説明する

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、中枢神経系理学療法の基礎知識	シラバスオリエンテーション：本授業のスケジュール、試験方法と評価基準 講義：中枢神経系理学療法の位置づけ、理解のための基礎知識	犬飼 康人
2	脳損傷の定義と病態	講義：脳損傷を引き起こす疾患・外傷	犬飼 康人
3	脳血管障害における医学管理	講義：自動調節能とその障害、脳血管障害に対する急性期治療、画像評価	犬飼 康人
4	脳損傷とその回復	講義：脳血管障害後の機能回復、機能回復の原因、機能的再組織化と脳の可塑性、使用依存性の回復と課題特異的トレーニング	小島 翔
5	運動の中枢機能と構造	講義：基本的な解剖知識、運動経路の解剖、神経所見と障害部位との関係性	犬飼 康人
6	感覚の中枢機能と構造	講義：基本的な解剖、感覚経路の解剖、病巣の症状の関連性、感覚運動機能連関の神経基盤	小島 翔
7	脳血管障害後片麻痺患者の運動障害の特徴	講義：脳血管障害後片麻痺患者に生じる身体構造と機能の問題（筋力、筋緊張、随意運動の制御機能、バランス機能、運動耐容能）	犬飼 康人
8	脳血管障害におけるリハビリテーションの流れ	講義：急性期、回復期、維持期（生活期）のリハビリテーション、脳卒中治療ガイドラインにおけるエビデンス	犬飼 康人
9	脳卒中の合併症	講義：脳血管障害による肩関節痛、中枢性疼痛（視床痛）、摂食・嚥下障害、排尿障害、嚥下障害に対する理学療法	小島 翔
10	脳卒中の歩行障害と装具療法	講義：正常歩行分析、脳卒中片麻痺患者の歩行の特徴と装具療法	小島 翔
11	高次脳機能障害と理学療法 1	講義：pusher現象の理解と理学療法アプローチ	犬飼 康人 他
12	高次脳機能障害と理学療法 2	講義：半側空間無視の理解と理学療法アプローチ	犬飼 康人

			他
13	脳血管障害における理学療法の実際1	講義：情報収集、初回理学療法評価、理学療法室での評価、家族からの情報収集	犬飼 康人
14	脳血管障害における理学療法の実際2	講義：理学療法評価のまとめ、理学療法の方針、経過と目標設定、理学療法プログラム	犬飼 康人
15,16	脳卒中片麻痺患者の評価	講義、演習：impairment、activity limitationの評価	小島 翔
17,18	脳卒中片麻痺患者の予後予測	講義、演習：脳卒中片麻痺患者の予後予測	小島 翔
19,20	脳卒中片麻痺患者の理学療法1	講義、演習：超急性期～急性期での理学療法	犬飼 康人
21,22	脳卒中片麻痺患者の理学療法2	講義、演習：亜急性期～回復期での理学療法	犬飼 康人
23,24	脳卒中片麻痺患者の理学療法3	講義、演習：回復期～維持期（生活期）での理学療法	小島 翔
25,26	脳卒中片麻痺患者の理学療法4	講義、演習：脳卒中治療ガイドラインに基づく最新の理学療法と神経生理学的アプローチ	犬飼 康人
27,28	脳卒中片麻痺患者の動作分析	講義、演習：脳卒中片麻痺患者の動作分析と問題点	小島 翔
29,30	脳卒中片麻痺患者のADL1	講義、演習：寝返り、起き上がりの評価と運動療法	小島 翔 他
31,32	脳卒中片麻痺患者のADL2	講義、演習：端座位、立ち上がりの評価と運動療法	小島 翔 他
33,34	脳卒中片麻痺患者のADL3	講義、演習：立位の評価と運動療法	小島 翔 他
35,36	脳卒中片麻痺患者のADL4	講義、演習：歩行の評価と運動療法	小島 翔 他
37,38	クリニカルリーズニング1	講義、演習：理学療法評価全般の流れ、レポート作成	犬飼 康人
39,40	クリニカルリーズニング2	講義、演習：理学療法アプローチの立案、レポート作成	犬飼 康人
41,42	脊髄損傷の理学療法1	講義、演習：脊髄損傷の病態と理学療法評価	犬飼 康人
43,44	脊髄損傷の理学療法2	講義、演習：急性期～回復期における理学療法とリハビリテーション	犬飼 康人 他
45,46	脊髄損傷の理学療法3	講義、演習：回復期～生活期における理学療法とリハビリテーション	犬飼 康人 他

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	理学療法テキスト 神経障害理学療法学1 (15レクチャーシリーズ)	石川 朗 他	中山書店	2012年	2,400円 +税	
	病気がみえる vol 7 脳・神経	医療情報科学研究所 他	メディックメディア	2011年	3,800円 +税	
参考書	ベットサイドの神経の診かた	田崎 義昭、斎藤 佳雄、坂井 文彦 他	南山堂	2013年	7,200円 +税	
	観察による歩行分析	月城 慶一、山本 澄子、江原 義弘	医学書院	2013年	5,000円 +税	
	改訂第2版 脳卒中理学療法の理論と技術	原 寛美、吉尾 雅春 他	MEDICAL VIEW	2016年	6,500円 +税	
その他の資料						

## 評価方法

- ・筆記試験・実技試験・課題レポートで評価する。なお、筆記とレポート（50%）、実技（50%）の採点配分とする。
- ・評価項目は、理学療法評価、治療に必要な知識と実施に至る思考や判断、および治療技能である。また、実施背景となる中枢神経系の機能などの理解も評価項目とする。
- ・評価視点については、授業開始時のオリエンテーション時に詳細に説明する。

## 履修上の留意点

- ・当科目は、“成人”と“小児”の2部に分かれており、評価は2部の総合で評定される。
- ・課題レポートは、必要時の教員の指示により提出を行う。
- ・演習時間でなくても、実技や検査の実施が時間内で部分的に行われることがあり、実施に適切な服装での参加を希望する。

## オフィスアワー・連絡先

犬飼 康人：授業開講日の18：00-19：30、E210、inukai@nuhw.ac.jp  
 小島 翔：火曜日の18：00-19：30、E207、kojima@nuhw.ac.jp